

## 協定相手校

1. イフザサク大学（モンゴル国） 2004年に本学と国際交流協定を締結したインターマネージメント大学が、2008年にイフザサク大学に合併されたため、2009年3月に、改めて本学とイフザサク大学間で国際交流協定を締結した。2009年からは、本学の国際協力実習の実習生とイフザサク大学の日本語学科学生との交流が始まり、2011年と2013年に、イフザサク大学から本学大学院日本文化研究科修士課程に留学生1名を受け入れ、両名が修士号を取得した。2017年4月に大学院仏教文化研究科修士課程に1名の学生が入学した。また、2007年に本学がインターマネージメント大学に設置したテレビ会議システムはイフザサク大学に移設され、2009年からは毎週火曜日に90分授業を同大の日本語学科の学生に本学から提供することにより、日本語能力向上に寄与した。2013年には同大の日本語学科が志願者減のため廃止されたが、第二外国語として日本語を学ぶ学生の日本語能力向上のため、テレビ会議を使い、本学学生でモンゴルでの国際協力実習（2017年度実施）履修者との会話の時間を提供した。2022年3月にイフザサク大学の日本語担当教員より、インターネットを使用した同大日本語履修学生への日本語会話授業の再開依頼があり、GWEを使用した授業提供を検討している。2023年11月に、2024年5月の同大学主催の国際フォーラムおよび同年10月の同大創立30周年記念フォーラムへの招待を受けた。

2. アユタヤ・ラチャパット大学（タイ王国）本学は2006年以来、タイのアユタヤ・ラチャパット大学との間で相互に研修を受け入れる国際交流を行っており、2018年度から新たな国際交流協定が締結され現在に至っている。駒沢女子大学側の短期研修は、本学人間総合学群の国際協力実習としてアユタヤ・ラチャパット大学およびタイ国内の研修地で行われてきた。また、アユタヤ・ラチャパット大学側も5月に駒沢女子大学で短期研修し、本学の授業の受講、学生交流、都内研修等、さまざまなメニューが行われてきた。

2024年2月21日には、zoomで両大学の交流会を実施し36名の学生・教員が参加した。タイの学生が「タイの社会問題」について日本語で発表を行い、その後質疑応答をする形式で活発な意見交換が行われた。